

平成 19 年度事業報告

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

<総務関係>

1. 理事会・評議員会の開催

第 35 回定例評議員会並びに第 80 回定例理事会

月日：6月14日

場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「平成 18 年度事業報告案」について

第 2 号議案 「平成 18 年度収支決算案並びに監査報告」について

第 3 号議案 「平成 19 年度事業の進捗報告」について

第 4 号議案 「文字・活字文化推進機構設立世話人会の現状報告」について

第 5 号議案 「理事・評議員の一部交代」について

- ◆ 丸岡義博 副理事長→大橋信夫 副理事長（日書連会長、東京堂書店）
村田誠四郎 理事→小城武彦 理事（丸善）

第 36 回定例評議員会並びに第 81 回定例理事会

月日：11月14日

場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「19 年度上半期事業報告並びに収支報告」について

第 2 号議案 「19 年度下半期事業計画」について

第 3 号議案 「20 年度子どもゆめ基金助成申請案」について

第 4 号議案 「理事・評議員の一部改選」について

- ◆ 井門照雄 理事→柴崎繁 理事（日書連副会長、王様書房）
高須博久 理事→谷口正明 理事（日書連副会長、正文館書店）
- ◆ 10 月 23 日に財団法人として認可、翌 24 日に設立記念総会を開催。引き続き事務局機能を担当

第 37 回定例評議員会並びに第 82 回定例理事会

月日：3月5日

場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「平成 19 年度事業報告並びに収支報告案見直し」について

第 2 号議案 「平成 20 年度事業計画案並びに予算案」について

第 3 号議案 「文字・活字文化推進機構への協力」について

事業報告

1. 生涯学習事業

第 15 期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」開講

読書を通じた生涯学習・読書活動の推進のため、平成 5 年より続く人気講座ですが、15 期を開講するにあたってテキストを改訂し、カリキュラムを一新いたしました。監修にはライター・書評家の永江朗氏、校長には読書家として知られる俳優の児玉清氏を迎えました。

テキスト・スクーリングは、第 1 編「本ってなんだろう」、第 2 編「本と出会う」、第 3 編「読む・調べる・伝える」の 3 編構成で、「読書」「書物」「図書館」「読書推進運動」「出版文化産業」など多岐にわたる内容を網羅しました。

執筆・講師陣には現在第一線で活躍されている方々にご協力いただき、これまでより一層魅力的な講座とすることができました。また、今期は各スクーリングの日程に毎回グループディスカッションを組みこみ、受講生による活発なディスカッションと個性あふれる発表が行われました。第 3 編のスクーリングでは、読みきかせとブックトークの実習も行い、ベテランから初心者までがそれぞれの効用や意義を考え、実践する機会となりました。

平成 19 年 11 月から 20 年 3 月まで、4 ヶ月にわたるレポート作成とスクーリングを経て、3 月 8 日に行われた修了式では、児玉清氏の記念講演が行われ、児玉「校長」が、「自らが良き読書人として」と題して、読書の魅力や自身の読書体験について語りました。

修了式では、来賓の日本書店商業組合連合会 大橋信夫会長から激励の祝辞を賜り、講師代表として永江氏は「講師にとっても貴重な体験でした。皆さんは出版業界にとって宝であり、大きな刺激です。これからも一緒にがんばりましょう」とエールを贈りました。

第 15 期の修了生は 98 名、北海道から沖縄県までの全国各地に、新たな JPIC 読書アドバイザーが誕生し、修了生は累計約 1,500 名となりました。（受講料：一般 52,500 円 JPIC 賛助会員 47,250 円）



<スクーリング スケジュール一覧>

講座	日程	カリキュラム	講師
第1編 本って何だろう	2007年 11月9日(金) スクーリング①	開講式 総論(本・読書の魅力と本講座のねらい) 本の歴史 書籍・雑誌編集について 懇親会	永江 朗 津野海太郎 松田哲夫
	2007年 11月10日(土) スクーリング②	JPIC 概要について 本のつくりや装丁について 印刷の歴史と現在 グループディスカッション	岡本幸治 中西秀彦
オプションツアー	2007年 11月11日(日)	講師の引率による書店ツアー(教文館、嶋田洋書、ブックハウス神保町、丸善丸ノ内本店、八木書店)	永江朗
オプションツアー	2008年 1月18日(金)	見学会(国立国会図書館、印刷博物館、大日本印刷、日本出版販売王子流通センター)	
第2編 本と出会う	2008年 1月19日(土) スクーリング③	出版流通について 古書の世界の奥深さ 身近な古本の楽しみ方 図書館の役割など	永江 朗 八木壮一 岡崎武志 大串夏身
	2008年 1月20日(日) スクーリング④	出版広告や目録、情報の収集と検索について 書評あれこれ 文字・活字文化の振興策 グループ・ディスカッション	永江 朗 豊崎由美 肥田美代子
第3編 読む・調べる・伝える	2008年 3月7日(金) スクーリング⑤	本との出会い①古本市や地域での取り組み 本との出会い②読みきかせやブックトークのポイント 演習 発達と読書	南陀綾繁 越高一夫 佐々木宏子
	2008年 3月8日(土) スクーリング⑥	グループディスカッション 講座のまとめ 記念講演 修了式 懇親会	永江 朗 児玉 清



<第15期受講生 属性一覧>

男女計	男性	女性
100	14	86

年代別	20代	30代	40代	50代	60代
100	22	31	25	19	3

地域別計	北海道	東北	関東	信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
100	4	7	56	5	3	5	7	3	1	6	3

職業別	図書館	書店	古書店	出版社	出版関係	取次会社
	18	18	1	11	3	4
100	主婦	自営業	教員	学生	会社員	その他
	7	6	7	6	11	8

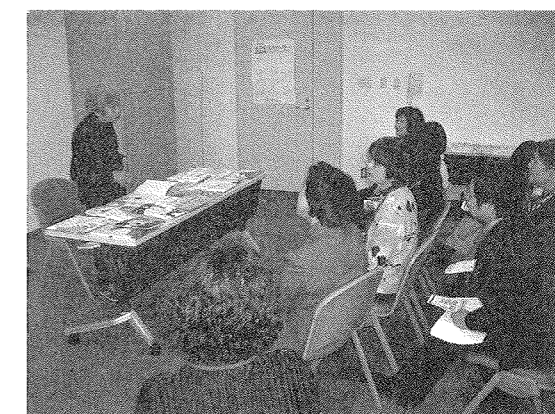
「JPIC 読書アドバイザークラブ(JRAC)」への活動支援

平成5年より開講している「JPIC 読書アドバイザー養成講座」の修了生は、平成19年度末で約1,500名となりました。修了生は自主運営組織「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」を組織して、活発に活動しています。

修了生の主な活動としては、自主グループでの「学習会の開催」、「JRAC 通信の発行」「会員用ホームページでの情報交換」、JPIC によせられる「各種団体開催の読みきかせ講習会の講師への対応」など、多岐にわたります。全国には地域支部が13支部あり、交流しています。

JPIC としてもさらに JRAC の活動機会を広げるため、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」での読みきかせ実践講師、講談社「全国訪問おはなし隊」や「スミセイおはなし広場」でのボランティア向け学習会での講師など、主催・協力事業での講師のほか、おはなし会の読み手を依頼しています。

また、『この本読んで!』では毎号、JRAC メンバーが「おはなし会プログラム紹介」を執筆し、読者から人気のコーナーとなっています。(JRAC 会員: 約530名、19年度末現在)



JPIC 読みきかせサポーター講習会

読みきかせの輪を全国各地にもっともっと広げるため、「子どもへの読書推進運動」への理解促進と「読みきかせ運動」協力者育成を目的として「JPIC 読みきかせサポーター講習会」を開催いたしました。(実施：15ヶ所 参加者：1,528名)

プログラムAでは、絵本作家や研究者による特別講演、JPIC 読書アドバイザーによる「おはなし会」をするための実技やポイント、「おはなし会」実演などの講習を行いました。

プログラムBでは、おはなし会を充実させるための「パネルシアター」「ペープサート」、「手ぶくろ人形」などの講習を行いました。

また、A・Bともに、全国各地の読みきかせ活動の現状や子どもの読書活動推進法など、読書推進の現状について説明いたしました。(参加費：プログラムA・2,000円、プログラムB・2,500円)

本事業は平成11年の秋よりスタートして、延べ213回・21,669名の参加者を得ています。

読書支援講座～10代の読書は面白い！

小学校高学年から中学生に向けて読書推進を行っている方を対象に、児童文学者による基調講演、JPIC 読書アドバイザーによるブックトーク講習と実演を交えて、講習会を行いました。中高生の参加も呼びかけました。(実施：5会場、481名の参加、内学生31名)

平成18年度に「ヤングアダルト(YA)文学講座」として好評いただいた内容を、小学校高学年も対象として開催したものです。(参加費1,000円、学生無料)

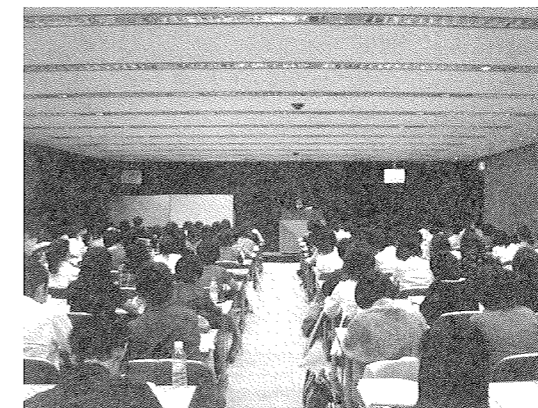
■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

	日程	開催地	会場名	基調講演	申込者数	参加者数
1	8月25日	鹿児島市	鹿児島県自治会館	金原瑞人氏	131	97
2	10月13日	広島市	アステールプラザ	清水眞砂子氏	106	81
3	10月27日	大阪市	OBP ツイン21	金原瑞人氏	140	94
4	1月26日	名古屋市	名古屋国際会議場	さくまゆみこ氏	136	95
5	3月16日	千代田区	中央大学駿河台記念館	金原瑞人氏	154	114
合 計					667	481

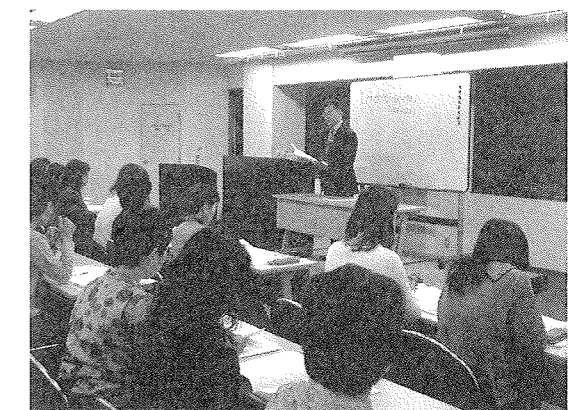
■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

	日程	開催地	プログラム	会場名	特別講師	申込者数	参加者数
1	7月14日	千代田区	A	東京国際フォーラム	内田麟太郎	236	127
2	7月29日	宮崎市	A	宮日会館	長野ヒデ子	58	49
3	8月1日	大分市	—	大分県教育会館※	浜田桂子	60	60
4	8月2日	大分市	—	大分県教育会館※	浜田桂子	60	60
5	8月18日	大阪市	B	エル・おおさか	阿部恵	168	118
6	8月25日	青森市	A	青森市文化会館	内田麟太郎	129	108
7	9月8日	札幌市	A	札幌教育文化会館	長野ヒデ子	114	114
8	9月29日	徳島市	B	アスティ徳島	阿部恵	127	109
9	10月13日	千葉市	A	千葉商工会議所	とよたかずひこ	108	86
10	11月3日	京都市	A	京大会館	とよたかずひこ	101	72
11	11月24日	仙台市	A	ハーネル仙台	岩城敏之	84	64
12	12月1日	金沢市	A	文教会館	浜田桂子	55	44
13	12月8日	長崎市	B	長崎総合福祉会館	阿部恵	84	64
14	1月27日	米子市	B	米子商工会議所	阿部恵	85	71
15	2月2日	松山市	A	愛媛県民文化会館	浜田桂子	119	90
16	2月9日	横浜市	B	中小企業会館	阿部恵	140	111
17	2月16日	岡山市	A	岡山コンベンションセンター	とよたかずひこ	132	101
18	3月1日	名古屋市	A	愛鉄連厚生年金基金会館	長野ヒデ子	148	100
合 計						2,008	1,548

※大分県学校生協と共催



(左) JPIC 読みきかせサポーター講習会
7月14日東京会場



(右) ヤングアダルト(YA)文学講座
10月27日大阪会場

2. 調査研究事業

「文字・活字文化振興法」対策研究委員会

①大学読書人大賞 協力

若い世代に「読書の魅力を共有したい」「本を真中にディスカッションしてほしい」との考えから、フランスの「高校生ゴンクール賞」を参考にした「大学読書人大賞」（第1回）を応援、共催いたしました。

企画・実施のほとんどは、大学文藝部（サークル）に所属する11名の有志大学生で作る大学読書人大賞実行委員会が行っています。

大賞の選定にあたっては、まず全国の大学生文芸サークルが各々5作品を選びました（参加サークルは約30）。投票数上位5作品を候補作品として、改めて参加サークルが1作品を選んで推薦文を書き、サイト上の推薦文の中から優秀作品を選びます。その優秀推薦文を書いた5サークルが集い、公開討論会にて大賞が決定されます。公開討論会は20年5月4日に東京都美術館講堂にて予定されています。

1月18日に開催した記者会見には、主催者の予想を越える約50名もの取材陣に出席いただき、出版業界・専門紙にはすべて掲載いただくとともに、時事通信社に配信もしていただけたため、複数の一般紙にも大きく取り上げていただけました。

企画・実施内容の詳細は、<http://www.jpica.or.jp/dokushojin/>にて公開いたしました。

②文字・活字文化推進機構設立に向けた協力

18年度より文字・活字文化推進機構設立世話会事務局機能を担ってまいりましたが、同機構は19年10月23日に財団法人として文部科学省より認可を受けることができました。設立にあたっては次の団体より基本財産の寄付をうけました。

アサヒビール株式会社、株式会社資生堂、財団法人出版文化産業振興財団、大日本印刷株式会社、凸版印刷株式会社、社団法人日本広告業協会（I&S BBDO、朝日広告社、アサツーデイ・ケイ、ジェイアール東日本企画、大広、電通、東急エージェンシー、博報堂、博報堂DYメディアパートナーズ、マッキンゼーエリクソン、読売広告社）社団法人日本雑誌協会、社団法人日本書籍出版協会、社団法人日本新聞協会社団法人日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本書店商業組合連合会日本たばこ産業株式会社、日本図書普及株式会社株式会社ベネッセコーポレーション、松下電器産業株式会社（50音順）

翌24日には千代田区・学術総合センター一橋記念講堂にて「文字・活字文化推進機構設立記念総会」を開催いたしました（参加者：582名）

来賓として、青木保・文化庁長官、中川秀直・活字文化議員連盟会長（元自民党幹事長）、細田博之・図書議員連盟会長（元内閣官房長官）、河村建夫・子どもの未来を考える議員連盟会長（元文科大臣）の皆さまからご挨拶をいただきました。

同機構は、福原義春会長（資生堂名誉会長）、阿刀田高副会長（日本ペンクラブ会長）、肥田美代子理事長（JPIC理事長）としてスタートいたしました。

3月31日現在の理事は以下の通りです（役職は当時）。

理事長	肥田美代子	（童話作家 出版文化産業振興財団理事長）
副理事長	北村 正任	（毎日新聞社代表取締役社長 日本新聞協会会長）
	小峰 紀雄	（小峰書店代表取締役社長 日本書籍出版協会理事長）
専務理事 理事	俣木 盾夫	（電通代表取締役会長 日本広告業協会理事長）
	渡辺 鋭氣	（文字・活字文化振興法推進協議会事務局長）
	足立 直樹	（凸版印刷代表取締役社長）
	池田 弘一	（アサヒビール代表取締役会長兼CEO）
	大久保 浩	（日本漢字能力検定協会副理事長）
	大久保満男	（日本歯科医師会会長）
	大橋 信夫	（東京堂書店代表取締役社長、日本書店商業組合連合会会長）
	唐澤 祥人	（日本医師会会長）
	河村 建夫	（衆議院議員 子どもの未来を考える議員連盟会長）
	北島 義俊	（大日本印刷代表取締役社長）
	小坂 健介	（信濃毎日新聞社代表取締役社長 日本新聞協会副会長）
	高木 剛	（日本労働組合総連合会会長）
	多田 昭重	（西日本新聞社代表取締役社長 日本新聞協会副会長）
	田中 健五	（日本図書普及代表取締役社長 全国出版協会会長）
中川 秀直	（衆議院議員 活字文化議員連盟会長）	
中西 敏夫	（日本薬剤師会会長）	
永井多恵子	（日本放送協会前副会長）	
西室 泰三	（東芝相談役 日本アドバイザーズ協会理事長）	
広瀬 道貞	（テレビ朝日取締役会長 日本民間放送連盟会長）	
福武總一郎	（ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼CEO）	
細田 博之	（衆議院議員 図書議員連盟会長）	
宮川 智雄	（博報堂DYホールディングス代表取締役会長）	
村松 邦彦	（主婦の友社代表取締役会長 日本雑誌協会理事長）	
山口 政廣	（共同印刷取締役会長 日本印刷産業連合会会長）	
山崎 厚男	（トーハン代表取締役社長 日本出版取次協会会長）	
監事	北村 哲男	（弁護士）
	能勢 正幸	（公認会計士）

3月13日には日経新聞社と共催で「言葉の力で未来を拓く」を開催（会場：大手町・日経ホール、参加者623名）するなど、活発な活動を展開しています。

3. 情報提供事業

「JPIC NEWS LETTER」の発行

賛助会員の皆様に毎月1回、財団事業の報告のため「JPIC NEWS LETTER」を発行しています。掲載内容についてのお問い合わせ、財団運営に対するアドバイスをいただくなど財団事業へ反映させています。併せて、経理・会計処理の透明性を維持するため「月次決算報告書」を同封するとともに、参考資料として『JPIC 読書推進スクラップ集』をお送りしています。

「JPIC 読書推進スクラップ集」の発行

毎日発行される新聞記事の中から、「読書推進」「読みきかせ」「出版」に関連するものを収集し提供する『JPIC 読書推進スクラップ集』を発行いたしました。一般紙とともに、一般の方にはあまり目に触れる機会のない出版業界専門紙に特別協力をいただき、全国各地の読書推進活動を紹介いたしました。(購読者：233名)

発行形態	発行：12回（2007年4月号～2008年3月号 形態：A4・20ページ）
協力新聞社	一般紙：朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、中日新聞、東京新聞、西日本新聞 専門紙：週刊読書人、新文化、新聞研究往来、新聞展望、新聞之新聞、全国書店新聞、文化通信
購読料	通常・一般の方：3,600円（郵送料・税込） 『この本読んで！』併読：2,800円（郵送料・税込）

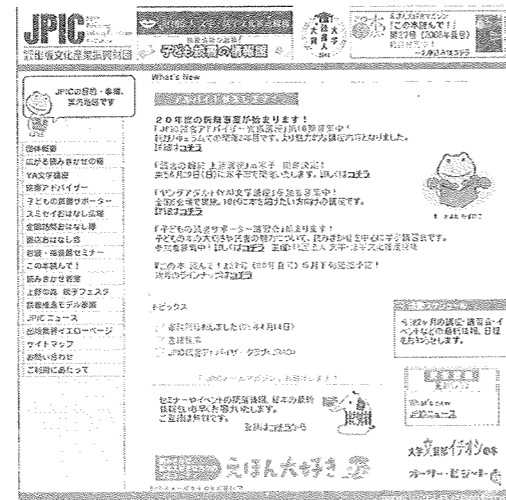
JPIC ホームページ

財団事業の活動を幅広く紹介し、活動スケジュールなどをいち早く提供するため平成10年2月よりホームページ (<http://www.jpic.or.jp/>) を公開しています。

平成14年8月に全面リニューアルして公開し、全国のボランティアの方々との関係強化を図り情報の提供を行っています。

JPIC が主催・協力する各地の講習会・説明会などの案内も掲載しているため、ホームページ経由で各種事業に参加されるボランティアも増えています。

また、「JPIC 読書推進メルマガジン」を配信し、全国のボランティアに講習会やイベント情報を配信しています。メルマガ読者の優先申込枠を設け、講習会の申込を簡略化することで、これまでより一層手軽で迅速な告知集客が可能になりました。



季刊誌『この本読んで！』の発行

30,000名を超える JPIC の読書推進運動への協力者との情報交換・情報提供のため、季刊誌『この本読んで！』を平成13年11月に創刊（事業協力：博報堂）。平成19年2月号で通巻第26号となりました。

絵本や読みきかせ活動の情報を中心に、「新刊絵本の紹介」や「絵本作家へのインタビュー」、「〈JPIC 読書アドバイザー〉おすすめ・おはなし会プログラム」など、多彩な内容を見やすいカラー誌面で構成しています。第20号（平成18年8月号）からデザインをリニューアルし、表紙も絵本作家の書き下ろしとなりました。あわせて公式ホームページも開設いたしました。（「えほん大好き」<http://www.ehondaisuki.jp>）

読書ボランティアの購読とともに、公共図書館・学校図書館からの購読が増えており、11,500部発行しています。

発行形態	発行：年4回（5月、8月、11月、2月） 形態：A4変形・88ページ	
掲載記事	23号 07年夏号	特集1 偉大なる詩人 まど・みちお 特集2 おはなし会で使える！12カ月の絵本歳時記 あの作家に会いたい きたやまようこさん
	24号 07年秋号	特集1 いま、日本の古典芸能がおもしろい！ 特集2 写真絵本の魅力にフォーカス あの作家に会いたい はたこうろうさん
	25号 07年冬号	特集1 プログラムの作り方教えます！ 特集2 堀内誠一の旅行カバン あの作家に会いたい 谷川俊太郎さん
	26号 08年春号	特集1 お父さんの育児は絵本で楽しく 特集2 絵本で世界をひと回り あの作家に会いたい 和歌山静子さん
購読料	定期購読（4冊）：4,200円（送料無料、税込） バックナンバー：1,200円（送料・税込）	



4. 交流協力事業

地域読書環境整備事業

JPIC では、書店も図書館もない地域に読書機会を提供する「地域読書環境整備事業」で、5 地域において、自治体のモデル読書施設開設・運営を協力しています。

大分県耶馬溪町「わかば」（平成 4 年 5 月開設）、岩手県大船渡市「ブックワールド椿」（平成 4 年 10 月開設、開設時は三陸町）、北海道礼文町「Book 愛ランドれぶん」（平成 5 年 10 月開設）、福島県飯舘村「ほんの森 いいたて」（平成 7 年 2 月開設）、長野県東御市「ブック童夢みまき」（平成 8 年 7 月開設、開設時は北御牧村）。

開設した全施設が地元の読書推進運動の中核的な役割を担いながら運営を継続しています。いくつかの施設では、市町村合併により同一自治体内に書店や図書館が存在する状況となりましたが、施設を中心に読書推進関連イベントを開催するなど、地域住民に親しまれながら存続しています。JPIC でも、イベントの企画や研修会の開催協力を行っています。

読書普及活動協力事業

読書普及活動の活性化に向けて業界各社が取り組む各事業（①全国訪問おはなし隊 ②おはなしマラソン ③取協読書推進事業「読みきかせ会」④トイザラス「たのしいおはなし会」⑤読みきかせ）に対し、「JPIC 読書アドバイザー」「JPIC 読みきかせサポーター」「地元の読書サークル」にボランティア参加の募集を呼びかけ、読みきかせ・ブックトークを開催する会場への読み手のコーディネートを行っています。

①全国訪問おはなし隊

講談社が創業 90 周年読書推進事業として平成 11 年 7 月よりスタートさせた「全国訪問おはなし隊」は、4 巡目を展開しています。全国の保育園、幼稚園、図書館、公民館、児童館、書店などをキャラバンカーで巡回し、地域の読書ボランティアの協力による絵本の読みきかせや紙芝居を通じて、子どもたちに本との出会いを提供しています。（19 年度：1,203 会場 累計実績：9,867 会場）

②おはなしマラソン

日本出版販売は、子どもたちに物語の楽しさを伝え未来の読者を育てていこうという試みから、書店読みきかせ会「おはなしマラソン」を平成 11 年 10 月より、全国で開催しています。（累計実績：602 書店）

③取協読書推進事業「読みきかせ会」

日本出版取次協会は、平成 12 年秋に創立 50 周年記念行事として「読みきかせ会の開催」を実施しました。平成 12 年度からの成果を踏まえて本年度も「読書推進」「書店店頭での活性化・増売」「第 4 土曜日は、こどもの本の日」の拡充のため、書店における読みきかせ会を開催しました。（期間：平成 19 年 12 月 1 日～平成 20 年 2 月 2 日の毎週土曜日、JPIC コーディネート担当実施書店：42 書店）

④トイザラス「たのしいおはなし会」

日本トイザラスは、知育玩具専門コーナー「イマジナリウム」導入店舗にて就学前の幼児を対象に絵本の読みきかせを行うイベント「たのしいおはなし会」を開催しました。（期間：平成 19 年 11 月 10 日～11 月 18 日の毎週土・日曜日 参加店舗：67 店）

■協賛出版社：岩崎書店、偕成社、学習研究社、学研トイズ、金の星社、くもん出版、講談社、主婦の友社、小学館キャラクター事業センター、大日本絵画、テンヨー、戸田デザイン研究室、童心社、永岡書店、PHP 研究所、ひかりのくに、ひさかたチャイルド、フレーベル館、文化学園、文化出版局、ポプラ社

[50 音順]

第8回「上野の森 親子フェスタ」の開催

「2000年子ども読書年」を記念して開催した「上野の森 子どもフェスタ」、翌年から「上野の森 親子フェスタ」として拡充開催しています。平成19年は第8回の開催を迎え、ゴールデンウィークの上野公園の恒例行事として定着してきた本事業には、今年も多くの人々が詰め掛けました。(開催：平成19年5月3日～5日、子どもの読書推進会議と共催)

- 協賛：日本公文教育研究会
- 後援：経済産業省、文部科学省、厚生労働省、国立国会図書館国際子ども図書館、東京都教育委員会、台東区、読売新聞東京本社
- 協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会、日本児童図書出版協会、日本出版取次協会、東京都書店商業組合、日本国際児童図書評議会

上野恩賜公園中央噴水池周辺では55社の協力による「チャリティ・ブック・フェスティバル」が開催された。3日間とも好天に恵まれ、概ね20%割引の読者謝恩価格では、2,985万円強を売り上げました。

今年度も、日本書籍協会の協力により40%の割引販売「出版社共同企画謝恩価格本フェア」を実施し、児童書から一般書まで揃う会場は、本を手にする多くの親子で賑わいました。

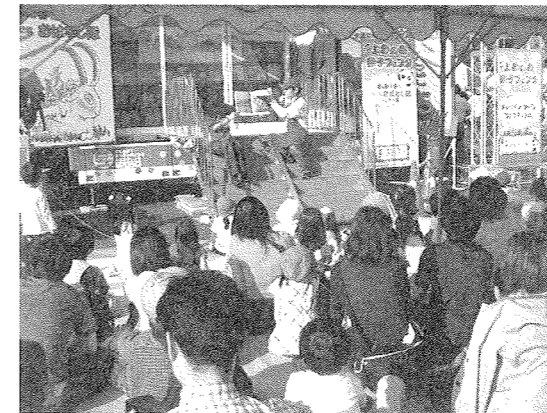


■ 出展社一覧 55版元 (50音順)

アートン	アールアイシー出版	あかね書房	アスラン書房
いかだ社	一声社	いのちのこぼ社	今人舎
絵本の家	大月書店	KIBABOOK	金の星社
くもん出版	佼成出版社	講談社	ゴマブックス
小峰書店	朔北社	集英社	主婦の友社
小学館	鈴木出版	誠文堂新光社	世界文化社
大日本絵画	大日本図書	童心社	徳間書店
西村書店	農山漁村文化協会	博雅堂出版	BL出版
ひさかたチャイルド	評論社	福音館書店	富山房
ポプラ社	ほるぷ出版	理論社	自然の会
YA出版会	柳田邦男書店	日本図書普及	謝恩価格本フェア
おはなしサポートの会(アリス館、岩崎書店、学習研究社、フレーベル館、文研出版)			
森の会(クレヨンハウス、さ・え・ら書房、のら書店、文溪堂、星の環会、リブリオ出版)			

また、同会場では常時、「全国訪問おはなし隊」(協力：講談社)キャラバンカー前特設会場やイベントテントにて出展各社協力によるおはなし会や紙芝居、出展社ブースでは絵本作家のサイン会が、3日には、日本公文教育研究会による「KUMON 幼児フェスタ」が行われました。

講演会も、東京都美術館講堂と東京国立博物館平成館大講堂を会場に6講演が行われ、約1,800名の親子・読者に読書の魅力やおはなしの楽しさを伝えました。



■ 講演会一覧 (子どもゆめ基金助成活動)

日程	タイトル	出演者	参加人数
3日 (木・祝)	小さなお話の大きな世界 (協賛：ポプラ社)	角野栄子氏 (童話作家)	277名
3日 (木・祝)	いま、大人にすすめる絵本	柳田邦男氏 (作家) 矢島床子さん (助産師) 関谷亜矢子さん (フリーアナウンサー)	268名
4日 (金・祝)	絵本お絵かきライブ (協賛：小学館)	長谷川義史氏 (絵本作家)	312名
4日 (金・祝)	絵本で楽しむ子育て・孫育て	草谷桂子氏 (児童文学者)	234名
5日 (土・祝)	レクチャーとリーディングで 体験する、シェイクスピア (協賛：光文社)	安西徹雄氏(上智大学名誉教授)、 劇団<円>橋爪功氏(俳優)ら	369名
5日 (土・祝)	子どもに伝える日本国憲法 (協賛：講談社)	井上ひさし氏 (作家・劇作家)	356名

「21世紀活字文化プロジェクト」への協力

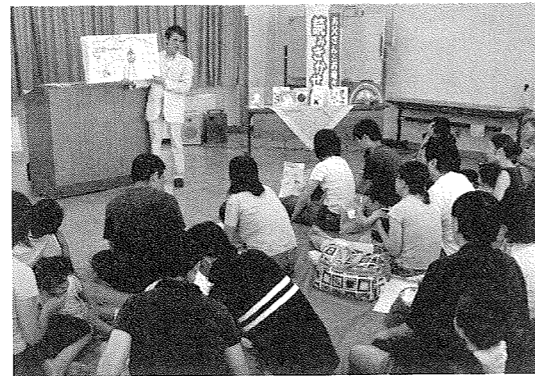
読売新聞社は、思考力や想像力を育む本や新聞などの活字文化の振興を図り、活力ある社会の再構築をめざすため、出版関係業界と協力して「活字文化推進会議」を発足させ、「21世紀活字文化プロジェクト」に取り組んでいます。

同プロジェクトの一環として、家庭での読みきかせを普及させるため、「お父さんとお母さんの読みきかせ教室」に協力しました。

(実施：9ヶ所 参加者：435家族)

絵本作家や保育専門家の講演とともに、JPIC 読書アドバイザーによるおすすめ絵本紹介や手遊びなどを行い、家庭で読みきかせをすることの大切さを伝えました。

また、今年度は初の試みとして、資生堂大阪工場にて企業の社員向けの「読みきかせ教室」を開催しました。



	日程	開催地	会場	講師	参加家族数
1	6月10日(日)	高知市	高知市文化プラザかるぼーと	とよたかずひこ氏	82家族
2	6月30日(土)	宮崎市	宮崎市民プラザ	あきやただし氏	38家族
3	7月28日(土)	青森市	青森市民ホール	あきやただし氏	42家族
4	9月22日(土)	佐賀市	子育て支援センター「ゆめ・ほけっと」	阿部恵氏	61家族
5	11月3日(土)	郡山市	安積 地域子育て支援センター	岩城敏之氏	32家族
6	12月1日(土)	奈良市	奈良県文化会館	宮西達也氏	32家族
7	2月17日(日)	岐阜市	絵本と童話の店 おおきな木	とよたかずひこ氏	57家族
8	3月8日(土)	京都市	子育て支援総合センター こどもみらい館	阿部恵氏	71家族
9	3月27日(木)	大阪市	資生堂大阪工場 ホール	浜田桂子氏 越高一夫氏	20家族 (80名)
合 計					435家族

また、第5回「子どもの本フェスティバル in おおさか」では、約10,000冊の絵本・児童書の展示即売や、中川ひろたか氏(絵本作家)、ケロボンズ(スーパーデュオグループ)らのコンサート、とよたかずひこ氏(絵本作家)の読みきかせに加え、金原瑞人氏(翻訳家)講演による「読書支援講座 10代の読書はおもしろい!」や岡崎武志氏(ライター・書評家)と永江朗氏(ライター・書評家)による「読書の腕前 上達講座」など、読書に親しんでもらうための様々なイベントを開催しました。(共催：活字文化推進会議、日本児童図書出版協会、JPIC 開催：10月28日～29日 会場：大阪ビジネスパーク TWIN21)



「スミセイおはなし広場」への協力

財団法人住友生命健康財団は、読書をとoshした子どもの健全育成を目的として、子どもたちが「おはなしや本の楽しさ」に出会う機会を創造する「スミセイおはなし広場」を実施しています。

その一環である「おはなし広場キャラバン」は、希望する保育園・幼稚園に、オリジナル絵本や大型絵本、紙芝居を交えたおはなし会を届けるものです。読み手に地域の読書サークルをコーディネートして開催するおはなし会は、地域交流のきっかけという役割も担っています。

18年度は、4地域(6月鳥取県鳥取市・米子市周辺、9月徳島県徳島市周辺、10月沖縄県那覇市周辺、11月茨城県水戸市周辺)で開催し、9,444名の園児が参加しました。(実施：115施設)

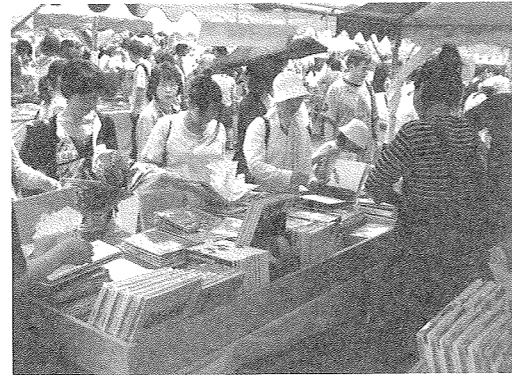
赤ちゃん本舗「赤ちゃん和妈妈のおはなし会」への協力

育児用品などの販売を手がける「赤ちゃん本舗」は、家庭でのコミュニケーションの発展と読書推進を目的として、店舗内のスペースを利用し、乳児・幼児・保護者を対象とした「赤ちゃん和妈妈のおはなし会」を実施しています。おはなし会を開催する店舗に、JPIC 読書アドバイザーや JPIC 読みきかせサポーターをコーディネートしています。(開催：毎月約40店舗)

第5回「子どもの本まつり in とうきょう」開催

秋の上野公園読書推進事業として、第5回「子どもの本まつり in とうきょう」を子どもの読書推進会議との共催で9月15～17日、台東区・上野恩賜公園にて開催しました。

- 後援：経済産業省、文部科学省、
国立国会図書館国際子ども図書館、
東京都教育委員会、台東区、朝日新聞社
- 協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会、
日本児童図書出版協会、日本出版取次協会
ヤングアダルト出版会、日本国際児童図
書評議会



上野恩賜公園中央噴水池広場では、44社の出展による「チャリティブックフェスティバル」が開催され、概ね20%割引の読者謝恩価格で約1,542万円を売上げました。この収益の一部は読書推進運動に関する団体・取り組みに寄付しました。

また、出展社ブースやイベントテントでは、作家のサイン会やおはなし会が開催されました。

■出展社一覧 44社 (50音順)

アールアイシー出版	あかね書房	アスラン書房	一声社
絵本の家	KIBABOOK	金の星社	くもん出版
佼成出版社	講談社	ゴマブックス	小峰書店
集英社	主婦の友社	小学館	瑞雲舎
鈴木出版	誠文堂新光社	大日本絵画	大日本図書
童心社	徳間書店	農山漁村文化協会	博雅堂出版
ひさかたチャイルド	評論社	福音館書店	富山房
ポプラ社	ほるぷ出版	光村教育図書	理論社
ヤングアダルト出版会	ブックハウス神保町	JBBY	JPIC
おはなしサポートの会 (アリス館、岩崎書店、学習研究社、フレーベル館、文研出版)			
森の会 (文溪堂、星の環会、リブリオ出版)			

東京都美術館での講演会は下記の通り2コマ開催され、いずれも盛況でした。

日程	講演	出演	参加者数
16日	「絵本作家たちの四方山話」	とよたかずひこ氏 きたやまようこ氏 はたこうしろう氏	247名 (応募 358名)
17日	「読書の腕前 上達講座」	岡崎武志氏 豊崎由美氏 南陀楼綾繁氏	264名 (応募 322名)

「読書の腕前 上達講座」(主催:光文社、JPIC)

『読書の腕前』(光文社新書)をきっかけに、大人向けの読書講座を開催いたしました。書評家・岡崎武志氏を基調講演、活躍中の書評家をゲストに読書が一層楽しくなるような対談を行い、おすすめの本を紹介いたしました。(参加費無料)

	開催日程	地域	ゲスト	申込者数/定員	参加者数
1	9月17日(月・祝)	台東区	豊崎由美氏 南陀楼綾繁氏	322名/280名	264名
2	10月28日(日)	大阪市	永江朗氏	101名/100名	82名
3	12月15日(土)	名古屋市	豊崎由美氏	364名/180名	171名
4	3月29日(土)	福岡市	北尾トロ氏	176名/150名	94名
計	4会場 ホストは全て岡崎武志氏				458名

- 1 「子どもの本まつり in とうきょう」併催
- 2 「子どもの本フェスティバル in おおさか」併催
- 3 共催:中日新聞社
- 4 協力:西日本新聞社

朝日新聞社「オーサー・ビジット・プロジェクト」への協力

「オーサー・ビジット・プロジェクト」は、朝日新聞社の読書推進運動として、15年度よりスタートいたしました。

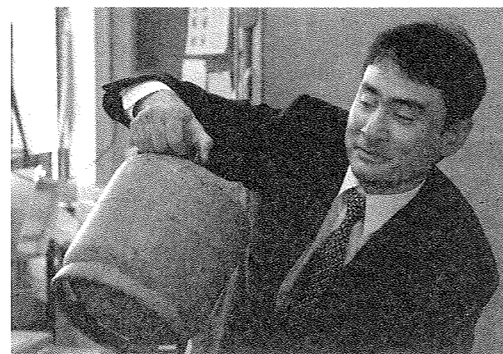
作者（オーサー）が小・中・高校の教室を訪問し（ビジット）、作者自身の言葉による授業や対話により、子どもたちの読書意欲を喚起することを目的としています。

初年度は、全国の学校から予想を上回る応募があったため、9名であった作家を翌年より倍以上の規模に拡充して開催しています。5年目の19年度は、約1,500件を超える応募があり、24名の作家が47校を訪問して、ユニークな授業をクラスで展開しました。この訪問の様子は朝日新聞 be junior「オーサー・ビジット総集編」としてタブロイド版にまとめられ、応募いただいた学校やご希望の読者へ届けられました。

JPIC は事務局として協力し、応募校の受付・登録や作家と学校の訪問スケジュール調整などの役割を担っています。



写真：御堂義乗



写真：吉永考宏

	訪問日	訪問地	学校名	作家名
1	9月18日(火)	神奈川県	神奈川県立秦野高等学校	養老孟司(解剖学者)
2	9月19日(水)	静岡県	静岡市立高等学校	上橋菜穂子(作家)
3	9月20日(木)	沖縄県	那覇市立小祿南小学校	今森光彦(写真家)
4	9月25日(火)	島根県	島根県立浜田商業高等学校	今森光彦(写真家)
5	9月25日(火)	京都府	京都府立洛東高等学校	甲野善紀(古美術研究者)
6	9月26日(水)	福島県	田村市立西向小学校	俵万智(歌人)
7	9月27日(木)	愛知県	東浦町立緒川小学校	中川千尋(絵本作家・翻訳家)
8	9月28日(金)	長崎県	長崎県立松浦高等学校	桂文我(落語家)
9	10月3日(水)	新潟県	長岡市立上組小学校	松岡達英(自然絵本作家)
10	10月15日(月)	富山県	富山県立富山南高等学校	佐藤多佳子(作家)
11	10月15日(月)	福岡県	福岡県立明善高等学校	清宮克幸(サントリー・ラグビー部監督)
12	10月15日(月)	岩手県	岩手県立大東高等学校	俵万智(歌人)
13	10月16日(火)	大阪府	豊中市立東丘小学校	松岡達英(自然絵本作家)
14	10月19日(金)	長崎県	五島市立久賀小学校	工藤直子(詩人・童話作家)

15	10月23日(火)	大阪府	大阪市立豊崎中学校	長谷川義史(絵本作家)
16	10月26日(金)	広島県	福山市立旭小学校	甲野善紀(古美術研究者)
17	10月26日(金)	東京都	九段中等教育学校	はやみねかおる(児童文学作家)
18	10月26日(金)	群馬県	前橋市立元総社南小学校	桂文我(落語家)
19	10月26日(金)	島根県	松江市立竹矢小学校	岡田淳(児童文学作家)
20	10月30日(火)	奈良県	奈良県立磯城野高等学校	枝元なほみ(料理研究者)
21	10月30日(火)	神奈川県	川崎市立中野島中学校	佐藤多佳子(作家)
22	10月31日(水)	石川県	小松市立芦城小学校	中川千尋(絵本作家・翻訳家)
23	11月6日(火)	埼玉県	さいたま市立大谷場東小学校	枝元なほみ(料理研究者)
24	11月7日(水)	静岡県	富士市立丘小学校	武田美穂(絵本作家)
25	11月12日(月)	大阪府	豊中市立少路小学校	メアリー・オズボーン(作家)
26	11月13日(火)	三重県	いなべ市立立田小学校	谷川俊太郎(詩人)
27	11月15日(木)	東京都	中野区立啓明小学校	メアリー・オズボーン(作家)
28	11月15日(木)	奈良県	野迫川村立野迫川小学校	岡田淳(児童文学作家)
29	11月19日(月)	宮城県	仙台市立仙台高等学校	清宮克幸(サントリー・ラグビー部監督)
30	11月22日(木)	栃木県	栃木県立大田原高等学校	佐渡裕(指揮者)
31	11月26日(月)	新潟県	新潟市立五十嵐中学校	上橋菜穂子(作家)
32	11月28日(水)	千葉県	習志野市立秋津小学校	はやみねかおる(児童文学作家)
33	12月4日(火)	山形県	山形県立山形中央高等学校	養老孟司(解剖学者)
34	12月5日(水)	熊本県	熊本市立銭塘小学校	杉山亮(児童文学作家)
35	12月7日(金)	山形県	鶴岡市立朝陽第二小学校	谷川俊太郎(詩人)
36	12月12日(水)	神奈川県	シュタイナー学園	井上ひさし(作家・劇作家)
37	12月18日(火)	岡山県	備前市立西鶴山小学校	武田美穂(絵本作家)
38	12月19日(水)	兵庫県	西宮市立甲東小学校	佐渡裕(指揮者)
39	12月19日(水)	広島県	広島市立五日市南小学校	野口健(登山家)
40	12月20日(木)	香川県	小豆島町立池田中学校	野口健(登山家)
41	1月9日(水)	東京都	雙葉小学校	工藤直子(詩人・童話作家)
42	1月18日(金)	神奈川県	横浜市立南山田小学校	後藤道夫(科学ジャーナリスト)
43	1月29日(火)	長野県	長野市立通明小学校	長谷川義史(絵本作家)
44	1月30日(水)	兵庫県	新温泉町立温泉小学校	五味太郎(絵本作家)
45	1月31日(木)	長野県	長野県飯田高等学校	後藤道夫(科学ジャーナリスト)
46	2月7日(木)	神奈川県	横浜市立荏子田小学校	五味太郎(絵本作家)
47	2月18日(月)	宮城県	気仙沼市立中井小学校	杉山亮(児童文学作家)